

滋賀県防犯設備士協会の紹介

滋賀県防犯設備士協会 会長 小林 徹



滋賀県防犯設備士協会

滋賀県は日本のほぼ真ん中に位置し、その中央に県土の約1/6を占める日本最大の湖・琵琶湖を抱え、周囲には緑豊かな山々や田園風景が広がり、水と緑の豊かな自然に触れ合うことができます。また、滋賀県は交通の要衝の地でもあり、古くから文化・経済の先進地として栄えたこの地には、歴史ある寺社や戦国時代をはじめとする英傑たちの足跡、歴史情緒や町並みなどがそれぞれの地域にあります。

■協会の概要

滋賀県防犯設備士協会は2007年10月に設立され、現在、正会員12社、賛助会員4社、個人会員1名 会長、副会長はじめ理事4名、執行幹事5名で構成しています。滋賀県警察及び公益社団法人滋賀県防犯協会と連携、協働し防犯講演、防犯診断、防犯展示をはじめ、滋賀県が推進する地域防犯力向上への協力をを行い、滋賀県の安全・安心まちづくりへ貢献しております。

■滋賀県の犯罪の発生状況

滋賀県の犯罪情勢は、平成14年の刑法犯認知件数が最も多く32,183件でした。それ以降減少傾向にあり、平成30年の刑法犯の認知件数はピーク時の約25%となる7,967件（前年比770件の減少）となりました。平成31年は「刑法犯認知件数アンダー7000件、住宅侵入盗被害100件以下、特殊詐欺被害100件以下」を目指し、「特殊詐欺被害防止対策」「子ども・女性対象犯罪被害防止対策」「無施錠対策」を中心に、犯罪抑止活動を展開しております。

（出所：滋賀県警察HPより）

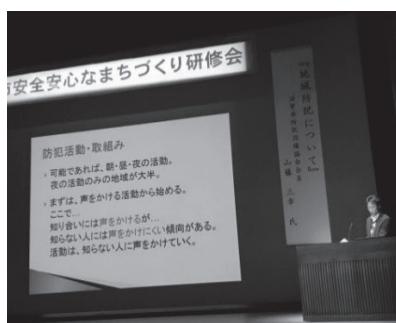
■最近の協会の活動状況のご紹介（平成29年度～平成30年度）

1. 自治体、関連団体に対して防犯講演を実施

滋賀県警察、滋賀県防犯協会と積極的に連携して、各地域、職域での防犯意識を高め自主防犯活動の推進を図る為、各自治体、関連機関に対して防犯講演を実施しております。

自治体…大津上田地区、草津栗東地区、南部地域、長浜地区、真野北地区など

関連機関…滋賀県シルバー人材センターにてマンション管理員向け講習に講師として参加



防犯講演の様子

2. 防犯診断及び安全対策の実施

防犯設備士としての知識と技能を生かし、戸建て住宅と特別養護老人ホームを中心に防犯診断を実施し、犯罪の発生しにくい環境づくりに取り組んでおります。

防犯診断実施地区:守山今宿、大津市西部(はりはらの里 特別養護老人ホーム)他

防犯診断については、滋賀県警察とも連携し各警察署を通じて、当協会作成のチラシを活用し、周知・実施しています。



会員紹介のチラシ



はりはらの里 特別養護老人ホーム防犯診断

3. 防犯モデル駐車場、防犯モデルマンションの審査協力

滋賀県防犯協会で運営する、防犯モデル駐車場、防犯モデルマンションの審査を対応して、県内での駐車場、マンションにおいて侵入されにくい環境整備を支援しております。

平成24年以降実績 登録駐車場5件 登録マンション4件

4. 各関連団体との連携

- ・滋賀県警察、日本ロックセキュリティ協同組合と連携し、ロックの日(6月9日)にJR大津駅、JR草津駅、JR南草津駅などで「施錠(ワンドアツーロック)」についての街頭啓発を実施しました。
- ・滋賀県警察との連携の一環として、滋賀県警察本部内で防犯カメラ、鍵、ガラス、インターホンなど計7社が防犯機器の展示会を実施し、警察官の方に対して防犯機器に関する最新の情報を提供させていただきました。
- ・近畿地区防犯設備士協会連絡会(大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山)に参加、各地区での活動内容を参考に滋賀県でも内容を充実して参ります。
- ・公益社団法人 日本防犯設備協会の特別会員として全国大会にも参加して、情報交換しながら、当協会の防犯活動の活性化を図っております。



ロックの日街頭啓発活動

5. 協会内での研修会の実施

会員の防犯知識の向上を図る為、年2回程度、研修会を実施しております。大阪府警察本部・パナソニック主催の防犯機器展示会見学、京都府防犯設備士協会 仲会長の防犯講演など実施し、研修会後に懇親会も開催して会員同士の懇親も深めております。

■問題点と今後の課題

1. 今後の組織体制と運営体制の整備

2007年の発足当時から、継続してきた会長及び副会長を含めた、現体制からの世代交代やそれ以降の体制作りを検討しております。(2020年度以降の新体制)

運営も事務局に集中していた業務を分散させ、各会員も企画運営に参画する体制に切り替えて参ります。

2. 企業の社会貢献活動（防犯CSR活動）と企業活動へのつながりの推進

協会の活動により会員の防犯知識向上や、会員間の連携はあるものの、協会発足以来10社近い会社が退会されています。事情はそれぞれですが、当協会の活動が会員企業の商売に直接還元される機会が少なく、活動に対する意義を感じていただけなかったという要因があったものと考えています。

しかしながら、当協会の活動目的は「地域安全活動に対して安全産業としての特性を生かした参画を図り、安全で安心な暮らしのできる滋賀県のまちづくりに貢献することを目的とする。」としており、まずは地域の安心安全に貢献する社会貢献活動（防犯CSR活動）を行う事であると認識しています。そのような活動を続けることで、当協会が地域に信頼される存在となり、会員企業も地域から信頼され、結果として企業活動につながるという、持続可能な活動となるよう、更なる地域への貢献を進めていこうと考えています。